

にのみや学園「小・小なかよしプロジェクト」

11月28日(火)、山西小学校の1年生が一色小学校を訪れ、一緒に楽しく活動しました。にのみや学園では、小学校同士で、朝の会や給食の時間に、オンラインで交流してきた学年もありましたが、今回は、初めて対面での交流が実現しました。

一色小学校では全学年で山西小学校の1年生を歓迎しました。山西小の1年生がバスで到着すると、5年生が昇降口で出迎え、体育館では、一色小の1年生が「はじめの会」を進行し、両校が一緒になったグループに分かれて、自己紹介をしてから、校庭、友情の山、スマイルネットルームなどで仲良く遊びました。

友情の山では4年生が、サポートしながら、山頂まで案内しました。中休みには、2・3年生と一緒にサッカーを楽しんでいました。その後も、図工室で自分たちが作ったおもちゃを見せて遊んだり、図書室や教室で過ごしたりして、最後は6年生がバスまでお見送りをしました。子どもたちは、あっという間に仲良くなって、あふれる笑顔がたくさん見られました。

「小・小なかよしプロジェクト」は、にのみや学園としての一体感を高めるとともに、中学校進学前に他の小学校の児童と交流をすることで、中学校で初めて会う緊張感を少しでも和らげ、安心感をもって中学校に進学することをねらいとしています。小学校6年間の中で、いろいろな学年で交流をして、中学校で会えるのを楽しみにできるようになるといいと思います。



優しさのバトン～異学年交流を通して



一色小学校では、全学年が単級であることを生かし、1年生と6年生、2年生と5年生の教室が隣同士になっており、日常的に異学年での交流が盛んです。「小・小なかよしプロジェクト」で全学年が関わっていたのも、ごく自然な姿でした。10月に行われた「オールフレンズ集会」では、1年生から6年生の縦割り班で楽しく給食を食べ、風船バレーや昔遊び、ビンゴ等、仲良く遊びました。縦割り班は各学年2人程度ずつで構成され、6年生が中心となって、丁寧に下級生に声をかけたり、一緒に遊んだり、優しく思いやりのある行動がたくさん見られました。上の学年の子たちが、自分よりも下の学年の子と接することで、こんなにも優しい素敵な姿を見せてくれるのだと、うれしく温かい気持ちになります。そのような上の学年の姿を見ることで、下の学年の子たちも、憧れを感じ、自分もそうなれるように頑張ろうという気持ちが芽生えます。

2年生が生活科の授業で作ったおもちゃを使って、「1年生と遊ぶ会」を行った時には、楽しんでもらえるように一生懸命に準備をして、優しく接していました。さらに、1年生が、来年度入学予定の幼稚園・保育園の園児たちとの交流会では、今度は自分たちが優しく声をかけたり、手をつないでゆっくり歩いたりして、優しさのバトンがしっかりと引き継がれていました。

にのみや学園では、同学年同士の横のつながりと学年を越えた縦のつながりのどちらも大切にしながら、安心して学べる環境づくりに努め、小・中学校9年間の育ちを支えていきたいと考えています。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

